

iPhoneで介護記録 現場の負担軽減

飛躍カンパニー

システム開発のユニバーサルソリューションシステムズは、高機能携帯電話「iPhone（アイフォーン）」で介護記録を入力できるシステムを業界で初めて開発、年内にも販売を始める。同社は携帯情報端末などによる介護記録システムをすでに実用化し、400施設以上の納入実績がある。アイフォーンの採用で利便性を一段と高め、2014年3月期までに5000施設への納



「iPhone」の介護記録システム入力画面

入を目指す。

介護記録は、要介護者に行った入浴や食事などの介護情報を施設内の介護スタッフ全員が共有し、効率よく介護を行うために活用される。介護保険請求の基本情報でもあり、介護施設の運営に欠かせない。だが、現在

は紙に手書きで記録する施設が多く、現場の介護スタッフに負担がのしかかる。

新システムは、アイフォーンの画面に指で触れるだけで必要項目を入力できるため、介護記録に要する労力と時間を大幅に軽減できる。入力情報はネット経由で同社のサーバーに蓄積され、システムを導入した施設は情報の共有と管理を容易にできる仕組みだ。入力項目のほかに、注釈などを音声で残せる。

システムの利用料金は、1施設内1サービスごとに初期費用5万2500円、3端末まで月額1万8900円。（阿部賢一郎）